

《国民スポーツ大会柔道競技成年種別新潟県予選会審判規定》

新潟県柔道連盟
強化委員会

1 適用審判規定

国際柔道連盟試合審判規定(2025～2028)及び本大会申し合わせ事項にて行う。

ただし、「有効」の基準は、2025 年の「有効」の基準を準用する。

2 本大会申し合わせ事項

(1) 試合時間は4分間とする。

(2) 延長戦について

試合時間終了時において、スコアに差がない場合はゴールデンスコア方式による時間無制限の延長戦を行う。

(3) 試合は、主審1人、副審2人、審判委員1人の体制で行う。

(4) 以下の場合、危険防止の観点から審判が「待て」を掛けることがある。

ア 試合者が場外の壁や工作物に激しく接触し、又は接触するおそれのある場合

イ 試合者が隣接する試合場の他選手と接触し、又は接触するおそれがある場合

(5) リーグ戦の順位基準(女子無差別級)

① 勝利数が多い選手

② ①が同数の場合、得点が多い選手

《得点について》大会組合せに記載

10点＝「一本勝ち」「反則勝ち」「不戦勝ち」「棄権勝ち」で勝った者

7点＝「技あり」で勝った者

5点＝「有効」で勝った者

1点＝「GS」で勝った者

③ ①②が同数の場合、直接対決で勝利した選手

④ ①～③が同数の場合、再試合を行う

再試合の方法は、

○3者が同数の場合～本戦4分間の試合(GS方式による延長戦を含む)を行い、試合順は抽選により決定する。

○2者が同数の場合～試合開始からGS方式の延長戦を行う。

※例 2者が1勝1敗で得点と同じく、同者の対決が両者反則負けの場合。

(6) 決勝戦において両者反則負けとなった場合

強化委員会において本県代表(補欠)選手を選出する。

(7) 試合者の服装

本大会の柔道衣は、「全日本柔道連盟主催大会における柔道衣コントロールの運用について(2023.7.24)」により行い、白色のみ使用する。(別紙参照)

以 上